【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成26年7月10日(2014.7.10)

【公開番号】特開2012-244979(P2012-244979A)
【公開日】平成24年12月13日(2012.12.13)
【年通号数】公開・登録公報2012-053
【出願番号】特願2011-121788(P2011-121788)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｑ　1/48　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/10　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/32　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｑ　1/48　ＺＮＡＺ
Ｃ１２Ｎ　5/00　１０２
Ａ６１Ｋ　35/32
Ａ６１Ｐ　19/08
Ａ６１Ｐ　19/10
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成26年5月26日(2014.5.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
軟骨量を増大させる作用および／または軟骨細胞分化を正常化させる作用を有する物質のスクリーニング方法であって、塩誘導性キナーゼ３を使用することを特徴とする方法。
【請求項２】
塩誘導性キナーゼ３の発現または機能の抑制を測定する工程を含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記測定する工程が、塩誘導性キナーゼ３の基質の活性化レベルの測定により行われる、請求項２に記載の方法。
【請求項４】
前記塩誘導性キナーゼ３の基質の活性化レベルの測定が、塩誘導性キナーゼ３の基質により活性化されるプロモーターに結合したレポーター遺伝子、塩誘導性キナーゼ３発現ベクターおよび塩誘導性キナーゼ３の基質の発現ベクターを導入した細胞において、当該レポーター遺伝子産物量を測定することによって行われる、請求項３に記載の方法。
【請求項５】
前記塩誘導性キナーゼ３の基質により活性化されるプロモーターが５×ＧＡＬ４であり、前記塩誘導性キナーゼ３の基質にはＧＡＬ４が融合されている、請求項４に記載の方法

。
【請求項６】
前記塩誘導性キナーゼ３の基質がＴＯＲＣまたはＴＯＲＣ２である、請求項３に記載の方法。
【請求項７】
軟骨量を増大させる作用および／または軟骨細胞分化を正常化させる作用を有する物質が、変形性関節症の治療薬、軟骨損傷の治療薬および軟骨形成異常症の治療薬から成る群より選択される治療薬である、請求項１に記載の方法。